

株主の皆様へ

FUJIFILM NEWS

Pick Up

戦略的飛躍に向けて新中期経営計画 「VISION2019」を始動



健康社会の実現に貢献



医療サービスへのアクセス向上
疾病の早期発見への貢献
アンメットメディカルニーズへの対応
健康増進、美への貢献

Sustainable Value Plan 2030



株主の皆様へ

グループ一丸となって新たな成長のステージへ
—新 CSR 計画、新中期経営計画を策定—

上期業績ハイライト

デジタルカメラ・医療システム・電子材料事業の
販売が好調に推移し、増収増益

グループ一丸となって 新たな成長のステージへ

—新CSR計画、新中期経営計画を策定—



平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2017年度上期の振り返り

2017年度上半期(2017年4月1日～9月30日)の業績は、デジタルカメラ、メディカルシステム、電子材料事業などの販売や営業利益が好調に推移し、売上高は1兆1,879億円(前年同期比6.7%増)、営業利益は、759億円(前年同期比12.7%増)となりました。

2017年度中間期の配当金は、1株当たり37円50銭といたしました。期末配当金は、1株当たり37円50銭を予定しており、年間配当金は8期連続増配となる、前年同期比5円増配の75円を予定しております。

また、株主の皆様にご心配をおかけしました連結子会社である富士ゼロックス株式会社の海外販売子会社における過去の不適切な会計処理に関して、過年度決算の業績修正がすべて終了したことをご報告いたします。本件を真摯に受け止め、ガバナンス強化を徹底的かつ継続的に実施するべく、7人の役員を経営陣に派遣したのを始めとし、組織の統合化を実施、全社横断のガバナンス強化委員会で、現在課題別にプロジェクトを推進しております。信頼回復に向け全力で取り組んでまいります。

今後の取り組み

当社はこのたび、中長期的に成長を持続させるために、当社グループが目指す姿として2030年をターゲットとした新CSR計画「Sustainable Value Plan 2030(SVP2030)」を策定し、それを実現するための具体的な行動プランとして、新中期経営計画「VISION2019」を併せて策定しました。

今回策定した新たなCSR計画は、すべての人が平和と豊かさを享受できることを目標とした国連の持続可能な開発目標である「サステナブル・デベロップメント・ゴールズ(SDGs)」に沿ったものであり、当社グループは、事業活動を通じて、これら地球規模での社会課題の解決に貢献してまいります。本CSR計画では社会課題のうち、「環境」「健康」「生活」「働き方」の4つの分野の課題に取り組むこと、そして環境・倫理・人権等のCSR

基盤をサプライチェーン全体にわたり強化すること、企業グループとしてオープン、フェア、クリアな企業風土をさらに徹底させていくことに重点的に取り組んでいきます。

新中期経営計画「VISION2019」では、それぞれの事業の成長段階に合わせた施策を適切に展開することにより、個々の事業の収益力のさらなる強化を進めてまいります。特に医薬品・再生医療等の事業の収益改善によりヘルスケア領域を主力事業として強く成長させていくこと、ならびに事業環境が変化する中でドキュメント事業を強化することという二つの課題を成し遂げることが重要だと考えています。医薬品事業につきましては、バイオCDMO事業の生産能力増強と生産プロセスの開発拠点増強等による事業成長の実現、新薬開発では、アンメットメディカルニーズが高い領域をターゲットとし、効率的な研究開発を推進していきます。また、再生医療事業では、創薬支援事業や最先端のiPS細胞を用いた再生医療製品の開発を加速します。

ドキュメント事業については、採算性を重視した製品ラインアップの最適化に加え、徹底したコストダウン、固定費削減などにより収益力を改善し、体質を強化するとともに、AIやIoTの活用を通じてオフィスの膨大なビックデータを、業務効率化、働き方、生産性改革に強力につなげていき、さらなる成長を実現します。

前述以外の各事業の具体的な戦略と計画の詳細につきましては4ページ以降に紹介しますが、各事業の発展段階に応じた施策を展開することで、本中期計画の最終年度である2019年度には、史上最高の営業利益2,300億円および当社株主帰属当期純利益1,500億円を実現します。また、2019年度までの3年間で自社株買い2,000億円、配当1,000億円の計3,000億円を株主の皆様へ還元いたします。

株主の皆様には、富士フィルムの次の3年間成長にぜひご期待いただきたくお願い申し上げます。

2017年12月

代表取締役会長・CEO

古森重隆

代表取締役社長・COO

助野健児

上期業績ハイライト

売上高

1兆1,879億円

前年同期比 +6.7%

営業利益

759億円

前年同期比 +12.7%

当社株主帰属四半期純利益

709億円

前年同期比 2.1倍

海外売上高比率

58.8%

前年同期比 +0.2ポイント

1株当たり当社株主帰属四半期純利益

161円92銭

前年同期比 +85円38銭

中間配当金

1株当たり37円50銭

前年同期比 +2円50銭

Sustainable Value Plan 2030の具体的な取り組み分野と目標

富士フイルムグループは、革新的技術・製品・サービスの提供など、事業活動を通じた社会課題の解決により一層取り組み、サステナブル社会への実現にさらに貢献する企業を目指します。

環境

自らの環境負荷を削減するとともに環境課題の解決に貢献する

重要課題

1. 気候変動への対応
2. 資源循環の促進
3. 脱炭素社会の実現を目指したエネルギー問題への対応
4. 製品・化学物質の安全確保

健康

ヘルスケアにおける予防・診断・治療プロセスを通じて健康的な社会を作る

重要課題

1. アンメットメディカルニーズへの対応
2. 医療サービスへのアクセス向上
3. 疾病の早期発見への貢献
4. 健康増進、美への貢献
5. 健康経営の推進

生活

生活を取り巻くさまざまな社会インフラをハード、ソフト、マインドの面から支える

重要課題

1. 安全、安心な社会づくりへの貢献
2. 心の豊かさ、人々のつながりへの貢献

働き方

自社の働き方変革を、誰もが「働きがい」を得られる社会への変革に発展させる

重要課題

1. 働きがいにつながる環境づくり
2. 多様な人材の育成と活用

サプライチェーン

重要課題

環境・倫理・人権等のCSR基盤をサプライチェーン全体にわたり強化する

ガバナンス

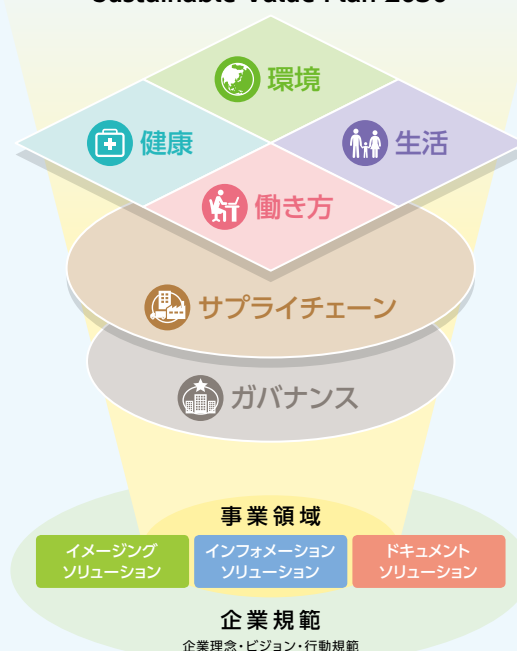
重要課題

オープン、フェア、クリアな企業風土をさらに浸透させることで、ガバナンス体制を改善・堅持する

サステナブル社会の実現

Value from Innovation

FUJIFILM
Sustainable Value Plan 2030



戦略的飛躍に向けて新中期経営計画「VISION2019」を始動

当社は、2017年度を初年度とする新中期経営計画「VISION2019」を始動させました。本中期計画は、当社が展開する各事業の深化と強化を図り、戦略的飛躍につなげていくものです。特にヘルスケア分野では、メディカルシステム、ライフサイエンス、バイオ CDMO 事業のさらなる成長と、医薬品と再生医療事業の加速により、大幅な成長を実現します。

新中期経営計画「VISION2019」の位置づけと考え方



「VISION2019」は、イメージング・インフォメーション・ドキュメントソリューションに属する各事業を、それぞれの成長段階に合わせ「収益力の向上」「さらなる成長の加速」「未来を創る投資」の3つのステージに位置付け、各事業のステージを明確化し、「各事業の収益力の向上によるキャッシュの安定的創出」「主要事業の成長加速による売上・利益の拡大」、「未来の柱となる収益貢献事業の育成」を推進することで、戦略的飛躍へとつなげていきます。また、海外販売基盤を強固にし、ヘルスケア製品や新規高機能材料などを積極的に海外展開します。これらにより、売上高2兆6,000億円、営業利益2,300億円、ROEの7.3%を達成します。これに加え、戦略的なM&A投資により、本中期計画を超える成長を実現します。

業績目標

	2016年度	2019年度	対2016年度
売上高	23,222	26,000	+ 2,778
営業利益	1,723	過去最高 2,300	+ 577
営業利益率(%)	7.4	過去最高 8.8	+ 1.4ポイント
当期株主帰属当期純利益	過去最高 1,315	過去最高 1,500	+ 185
ROE(%)	6.5	7.3	+ 0.8ポイント

株主還元施策(自社株買い+配当)

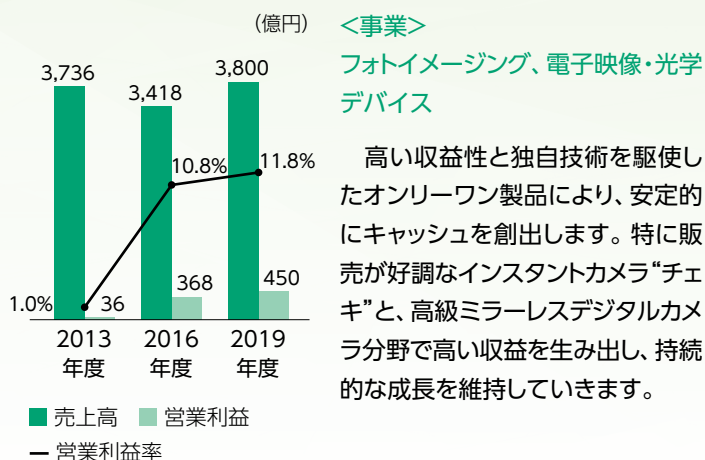
総額	3,000億円
自社株買い	2,000億円
配当	1,000億円
2016年度	70円→2019年度 95円(10期連続増配)

M&A投資

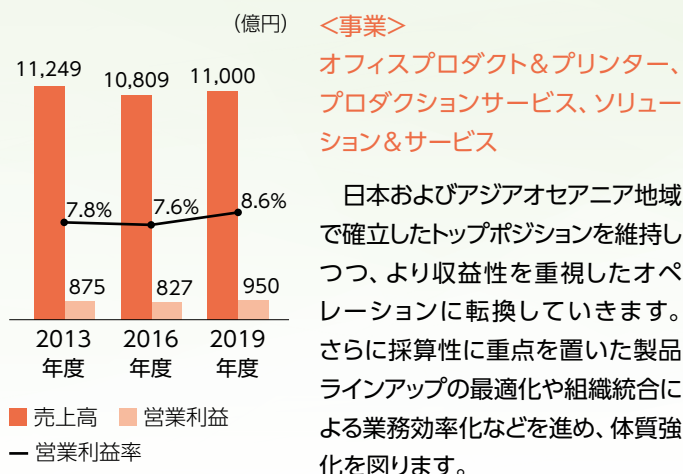
総額	5,000億円
さらなる売上・利益成長を加速させるための投資枠	

セグメント別業績目標

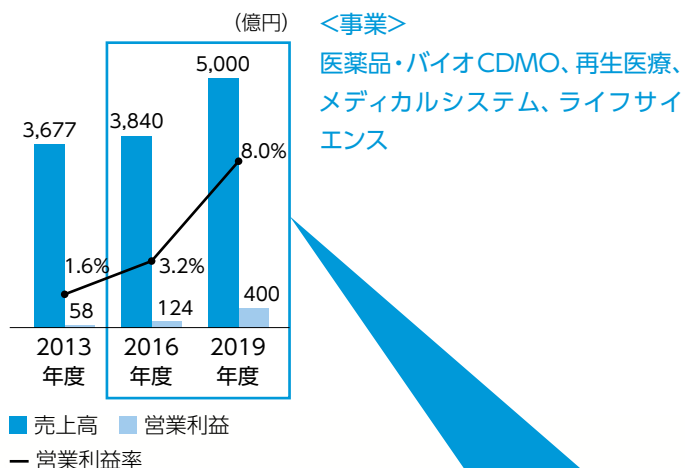
イメージング ソリューション



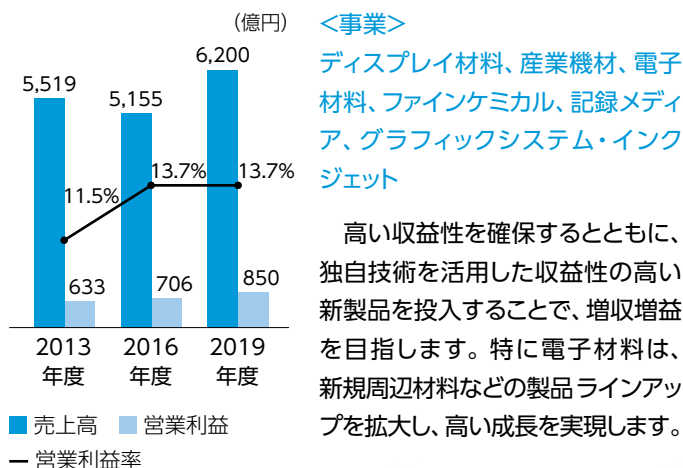
ドキュメント ソリューション



インフォメーション ソリューション 【ヘルスケア】



【高機能材料 等】



Close up

「健康社会」の実現に貢献するために トータルヘルスケアカンパニーを目指します

「健康」は人々にとって最も関心が高く重要なテーマです。当社は「SVP2030」の重点課題として「健康」を選択し、“ヘルスケア事業における「予防」「診断」「治療」プロセスを通じて健康的な社会を作る”ことを目指しています。そして、「VISION2019」では、ヘルスケア領域を成長・投資領域に位置づけ、重点的に経営資源を投入し、売上、営業利益を増加させます。

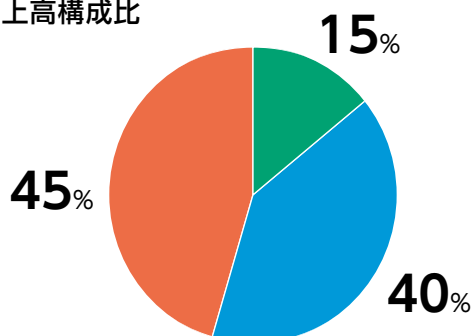
予防分野	ライフサイエンス事業を通じて、成長が見込まれる生活習慣病予防、エイジングケア市場をターゲットに機能性表示食品を投入し、収益を拡大。
診断分野	メディカルシステム事業を通じて、X線画像診断装置、内視鏡など幅広い医療機器ラインアップや競争優位性の高い医療ITの提供を通じて、国内外の顧客へのソリューション提案を強化し、年率7%の売上成長を実現。
治療分野	バイオCDMO事業で、生産能力の拡大などにより、事業成長を加速し、年率二桁の売上増を目指すとともに、医薬品事業では、アルツハイマーやがんなどの治療法の確立していない病気をターゲットとし、効率的な研究開発を加速。再生医療事業では、創薬支援事業や最先端のiPS細胞を用いた再生医療ビジネスを拡大。

これらの活動を通じて、トータルヘルスケアカンパニーとして、事業の成長を通じて健康社会の構築に貢献します。

上期業績:セグメントの状況

■ イメージング ソリューション ■ インフォメーション ソリューション ■ ドキュメント ソリューション

売上高構成比



売上高

1兆1,879億円

サブセグメント別売上高

フォトイメージング
1,124億円

光学・電子映像
624億円

ヘルスケア
2,008億円

ディスプレイ材料
470億円

産業機械・電子材料・
ファインケミカル
850億円

記録メディア
221億円

グラフィックシステム・
インクジェット
1,256億円

その他
3億円

オフィスプロダクト
& プリンター
3,104億円

プロダクション
サービス
672億円

ソリューション &
サービス
1,285億円

その他
262億円

イメージング ソリューション

売上高 **1,748** 億円(前年同期比+13.3%) 営業利益 **239** 億円(前年同期比2.6倍)

業績概要

- ・フォトイメージングは、インスタントカメラ“チェキ”、チェキフィルムなどのインスタントフォトシステムの販売が欧米を中心に好調に推移
- ・電子映像は、2017年2月発売の大型センサー搭載中判ミラーレスデジタルカメラ「FUJIFILM GFX 50S」、[Xシリーズ]の「FUJIFILM X-T20」「FUJIFILM X100F」を中心にカメラ本体および交換レンズの販売が好調で、売上が増加

今後の取り組み

- ・フォトイメージングは、デジタルイメージング技術を搭載した新製品「instax SQUARE SQ10」の投入などインスタントフォトシステムを中心として、収益を拡大
- ・光学・電子映像は、成長領域であるミラーレスデジタルカメラのハイエンド機や、4K対応放送用レンズなどの高付加価値製品に注力し、収益性を向上

インフォメーション ソリューション

売上高 **4,808** 億円(前年同期比+13.9%) 営業利益 **380** 億円(前年同期比+16.3%)

業績概要

- ・メディカルシステムは、成長分野であるIVDや内視鏡の販売が好調に推移
- ・バイオCDMOは、バイオ医薬品のプロセス開発・製造受託が好調に推移
- ・電子材料は、フォトレジストなどの先端製品を中心に販売が好調に推移し、売上が増加

今後の取り組み

- ・メディカルシステムは、医療IT・内視鏡・超音波・IVDの主要分野で売上を拡大
- ・グラフィックシステムは、富士フイルムと富士ゼロックスのインクジェットデジタルプレスの国内の販売機能を統合し、両社の強みを生かして最適なソリューションを提供
- ・電子材料は、半導体市場が拡大する中、引き続き幅広い製品ラインアップで市場成長率を上回る高い成長を実現

ドキュメント ソリューション

売上高 **5,323** 億円(前年同期比△0.9%) 営業利益 **291** 億円(前年同期比△28.2%)

業績概要

- ・オフィスプロダクト&プリンターは、欧米向け輸出で新製品の複合機、プリンターの販売が好調に推移
- ・ソリューション&サービスは、国内で業種・業務別ソリューションの販売が堅調に推移

今後の取り組み

- ・「Smart Work Gateway」による業務クラウド連携サービスの強化
- ・お客様の業務改善・生産性向上に貢献できる営業体制の強化によるソリューション・サービス事業の拡大
- ・市場特性に合致したマーケティングの強化によるアジア・中国地域における事業の強化

「Xシリーズ」最小・最軽量*ボディ ミラーレスデジタルカメラ 「FUJIFILM X-E3」新発売

「Xシリーズ」最小・最軽量ボディに、2430万画素の「X-Trans™ CMOS III」センサーと高速画像処理エンジン「X-Processor Pro」などを組み合わせ、最高画質と快適な操作性を同時に実現。また、Bluetooth®対応で、感動の写真画質を簡単・即時にスマートフォンなどに自動転送でき、シェアする愉しみを広げます。

*ファインダー搭載のミラーレスデジタルカメラ「Xシリーズ」において。



スマートフォン用プリンター “スマホでチェキ”「instax SHARE SP-3」 新発売

スマホから送信された画像を、その場で簡単・スピーディーにカードサイズのチェキフィルムに出力できます。さらに画像の上に文字を重ねて出力できる「マイテンプレート」などの機能により、オリジナリティのあるプリントを仕上げられます。



「ASTALIFT(アスタリフト)」の最上位シリーズ 「アスタリフト イン・フォーカス セルアクティブセラム」新発売

若々しい印象を与える肌のメカニズムに着目し、「ナノアスタキサンチンCP+」のほかに、独自技術でナノ分散した「ナノボスウェリン酸」を含む成分「ナノセルアクティブ」を配合。肌本来の力をサポートし、輝きとハリに満ちた肌へと導きます。



進行性の固形がんを対象とする抗がん剤 「FF-10832」の臨床試験を2018年より 米国で実施

「FF-10832」は、膵臓がんなどの固形がんを適応症とする既存薬剤「ゲムシタビン」を、当社のナノ技術を活用してリポソーム*に内包したリポソーム製剤です。薬剤をがん組織に選択的に送達し、薬効を高めることが期待されています。

*細胞膜や生体膜の構成成分であるリン脂質などをカプセル状にした微粒子。薬剤をリポソームに内包することにより、必要な量を必要な部位に必要なタイミングで送達することを可能にする。

業界初*1パス6色のプリントエンジンで複数の特殊色を一度に印刷できる プロダクションプリンター「Iridesse Production Press」新発売

従来のプリンターで用いられる4色(シアン・マゼンダ・イエロー・ブラック)のトナーに加え、金、銀、クリア、ホワイト*2の特殊トナーを搭載。「メタリックカラー」などの特殊色も一度に印刷でき、多彩な色の表現が可能になりました。これにより、高付加価値で訴求力の高い印刷アプリケーションの実現や、印刷納期の短縮で、印刷業に携わるお客様のビジネス拡大に貢献していきます。

*1 ゼログラフィー(乾式電子写真方式)において。2017年10月現在。

*2 ホワイトについては将来対応予定。



2018年度 株主優待のご案内

株主の皆様のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、長期的に保有していただくことを目的とした株主優待制度をご案内いたします。

7月実施（基準日：2018年3月31日）

単元株（100株）以上保有の株主様

- ①当社ヘルスケア商品トライアルキットプレゼント（お申込み制）
- ②当社ヘルスケア商品優待価格販売（お申込み制）

3年以上500株以上保有の株主様

当社ヘルスケア商品 プレゼント（お申込み制）

写真は2017年度実施の株主優待における商品。
化粧品コース・サプリメントコースの選択制。



12月実施（基準日：2018年9月30日）

単元株（100株）以上保有の株主様

当社ヘルスケア商品優待価格販売（お申込み制）

1年以上、単元株（100株）以上保有の株主様

当社フォトブック作成用クーポン券（1,000円分）プレゼント

3年以上500株以上保有の株主様

当社フォトブック 作成用クーポン券 （4,000円分）プレゼント

写真はサンプルです。保有年数および保有
株式数により、1,000円分と4,000円分のいずれかの
クーポン券（株主優待専用ウェブサイトからのお申込みに限り使用可能）をお送りします。



- * なお、対象商品やお申込み期限など、詳細は別途ご案内を差し上げます。
- * 1年以上あるいは3年以上保有の株主様とは、基準日現在の株主名簿上で、当初取得日が1年前あるいは3年前の同日以前の方です。

●株主メモ

事業年度末日 3月31日

定時株主総会 6月下旬

公告掲載

当社ホームページに掲載します。

URL（アドレス）は次のとおりです。http://www.fujifilmholdings.com/
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人

東京都千代田区丸の内1丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先／電話照会先

〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-782-031（フリーダイヤル）

取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の全国各支店で行っております。

単元株式数 100株

連結財務ハイライト

貸借対照表

単位：百万円

科目	2017年度 第2四半期末 (2017年9月30日現在)	2016年度末 (2017年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	1,841,745	2,034,800
投資及び長期債権	311,113	299,539
有形固定資産	550,474	520,614
その他の資産	867,407	678,236
資産合計	3,570,739	3,533,189
負債の部		
流動負債	624,122	680,178
固定負債	575,620	584,953
負債合計	1,199,742	1,265,131
純資産の部		
株主資本	2,132,298	2,043,559
非支配持分	238,699	224,499
純資産合計	2,370,997	2,268,058
負債・純資産合計	3,570,739	3,533,189

損益計算書

単位：百万円

科目	2017年度 第2四半期累計 (2017年4月1日～ 2017年9月30日)	2016年度 第2四半期累計 (2016年4月1日～ 2016年9月30日)
売上高	1,187,938	1,113,617
営業利益	75,877	67,354
税金等調整前四半期純利益	100,167	64,353
当社株主帰属四半期純利益	70,899	34,384
研究開発費	78,428	80,961
設備投資額*	29,642	33,588
減価償却費	61,594	58,992

* ドキュメントソリューション部門等のレンタル機器を除く。

キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	2017年度 第2四半期累計 (2017年4月1日～ 2017年9月30日)	2016年度 第2四半期累計 (2016年4月1日～ 2016年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	110,972	139,895
投資活動によるキャッシュ・フロー	△178,979	△35,502
財務活動によるキャッシュ・フロー	△135,686	△24,053
為替変動による現金及び現金同等物への影響	10,515	△31,182
現金及び現金同等物純増加・純減少(△)	△193,178	49,158
現金及び現金同等物期首残高	875,958	600,897
現金及び現金同等物四半期末残高	682,780	650,055

住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等のお申し出先
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設された株主様は、特別口座の口座
管理機関である三井住友信託銀行にお申し出ください。

「配当金計算書」について

配当金支払いの際、送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく
「支払通知書」を兼ねています。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用
いただくことができます。

なお、「配当金領収証」にて配当金をお受け取りの株主様につきましても、配当金
支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

●会社概要

会社名	富士フイルムホールディングス株式会社
設立	1934年1月20日
資本金	40,363百万円（2017年9月30日現在）
本社	東京都港区赤坂9丁目7番3号
連結従業員数	80,315名（2017年9月30日現在）